

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	29-02-01
原子炉建屋内	RB	RB	5		
タービン建屋内	TB			2	距離
R ZONE	R			3	遮へい
Y ZONE	Y			4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、ロボット化
その他()	Z			6	汚染拡大防止
				7	その他

内容	リモートモニタリングシステムの採用
作業部位	原子炉建屋を中心に高線量率エリア
概略	米国製の遠隔監視システムを採用し、高線量率エリアに立ち入らなくても作業者の管理・監視を行うことができた。

評価 (定性・定量)	効果	対策前		対策後	
		被ばく線量(mSv)	相対値1.0	相対値0.87	
		人工数(人日)	--	--	

事例詳細

対策前 被ばく低減は、工学的対策→管理的対策の順に行うことが求められているが、管理的対策ツールが導入されることは従来少なかった。

対策内容 米国製モニタリングシステムを導入し、元方事業者にそのシステムを貸与することで管理・監視業務の円滑化・省力化による被ばく低減を図ることが可能となった。

「IPカメラ」「ヘッドセット」「リモート監視用APD」で構成

収納時 縦横600mm × 高さ1300mm
 展開時 幅1300~3000mm × 高さ1600mm

